



ひとりだち

可児市立西可児中学校



R7 校報第2号
令和7年5月1日



アイデンティティ

校長 吉田竹虎

4年後の「開校 50 周年」が気になり、本校の歴史について思い巡らせています。駐車場いっぱいプレハブ校舎が立っていた時代がありました。ですが、本校舎の構成は開校当時と変わっていないのではないのでしょうか。

学校は、毎年、職員も、生徒も変わっていきます。しかし、地域は変わりません。(だから「大切な地域の学校」であり、「コミュニティースクール」なのです。)

そんな中、人が変わっても、年月が経っても、変わらない西可児中のアイデンティティ(らしさ)やプライド(誇り)は何だろうと考えます。

私はそれを象徴する言葉を、「西可児グリーン」と呼んでいます。

「緑」色は、新しい息吹、平和、知性、生命力 を表しています。

西可児中は、新しい発想を大切に、穏やかで、知性溢れる集団。そして、たくましく生き抜く生徒と共にある。そんな歴史がこの46年間に紡がれてきたと思っています。

そして、開校以来大切にされてきたのが、「中庭ガーデン」と「生徒会室」です。この場所は西可児グリーンを象徴しています。

■中庭ガーデン…昼休みの様々な楽しい企画、合唱の練習や発表をしています。平和・新しい息吹を感じる場所です。

■生徒会室…生徒会執行部の子から様々な新しいアイデアが生まれています。主体性・新しい息吹・知性を感じる場所です。

さらに、忘れてはいけない、

■校章…真ん中のペン(知性)を、運動場のような輪は、仲間(平和)を、全体の「中」のデザインは、心身共に大きく成長する大切な大切な中学時代を表しています。

■校歌…全部の歌詞が本校にマッチしていて素敵ですが、私は「拓けゆく丘に…明けわたる空をつき上げて」、「活かして使う力と心、よりよく豊かに生きる為」部分が特に好きです。



校長室：全卒業アルバム

令和7年度のスタートも順調です。